



にこにこ



寒さや乾燥が気になる季節になりました。子どもたちは寒さを感じさせないくらい、外に出ると友だちとかけっこしたり、大人とよーい、どん！と言い、たくさん走り回っています。感染症の風邪やインフルエンザに負けず、予防に気を配りながら元気に過ごしたいと思います。

今年度もあと2か月を切りました。1日1日を大切にしながら、今月も思いっきり楽しんで過ごしたいと思います！！



わらべうた

手遊びが大好きな子どもたちは大人が歌い始めると、じーっと大人の手をみたり一緒になって歌ったり、真似をしようと一生懸命に体を動かしています。

お部屋では「いっほんばーしーこーちょこちょ」と大人が一人の子に対して歌い始めると、それを聞いた他の子どもたちも「やって〜」と言い手を出したり、寝転がって足を出したりしてきます。うたが終わると「もう1回やって！」と言ったり、指を1本出してもう一回！と知らせてくれたりと、何度もうたって遊びたいくらい毎日楽しんで大人と触れ合っています。子どもがわらべうたを覚えると大人にうたってくれたりするなど、可愛い姿がたくさん見られます。

わらべうたは日本で古くから歌い継がれてきた遊びです。音域が狭く五つの音でできているため、とても歌いやすいメロディーになっています。音の数が少なく、うたも短いという特徴があります。同じ言葉を繰り返し聞くことにもなり、子どもが楽しく覚え歌ってみたい！と自発的に歌い始めます。そして生活するうえで使う、基本的な言葉が出てくるので、うたを通して身近な言葉を覚えるということにもつながります。

また、うたっている大人の手動きや指の動きを子どもたちが目で追うことで、自分で動く時にはどのように動いたらいいか考えて自然と体が動いています。やっていく中で指の動きを微調整したりテンポの取り方を変えてボディイメージを作っています。目で見て頭で想像して自分の身体を動かす作業は、子どもたちにとって大切な発達の一つになります。

2歳児の子どもたちは大人の指先を見てどんな動きをしているかなと、一生懸命に真似をしようとしています。わらべうたをしている時の子どもたちは集中していて、「これで合ってる？」など動きを、大人に確認する子もいます。わらべうたを通して模倣する楽しさや、手や指、身体を動かす事で表現する楽しさを知っていきます。歌と一緒に動きもあるので、楽しみながら運動能力やリズム感を養うこともできます。



わらべうたを歌う時は、一対一で向き合って目を見て行います。子どもと触れ合うことで、安心感や親しみをもち、子どもとの信頼関係が深まり、愛着も形成されます。特に乳児期の子どもは、物音や機械の音よりも人間の声に快く反応し、気持ちが安定します。

お昼寝の時や、子どもの気持ちを落ち着かせたい時、お散歩で一緒に歩いている時などにうたってあげてください。優しい声で、暖かい雰囲気をつくることも大切です。1日の中で子どもと触れ合う時間を決めるのも、いいかもしれません。

大人が大きい声で歌うと子どもは「自分は歌わなくてもいい」と感じてしまうこともあるので子どもの声を良く聞き、歌ってあげてください♪

28 うまはとしとし

smrdl, 佐賀



19 ちょちょあわわ

唱え

左右の手を2回合わせる 片手を2回口にあてる 両腕を胸の前で2回ぐるぐるまわす 左手(または右手)のひらを右手(または左手)の指で2回つつく

ちょ ちょ ちょ あ わ わ かいぐりかいぐり とつ とのめ

両手で頭を4回押さえる 左手(または右手)のひじを右手(または左手)で2回軽くたたく 右手(または左手)のひじを左手(または右手)で2回軽くたたく

お つ む てん てん ひ じ ぽん ぽん



1 はなちゃんりんごを

唱え 変拍子 熊本

人さし指で子どもの鼻を2回つつく 左頬(または右頬)を2回つつく 唇の下を3回つつく 手のひらで子どもの額を軽く2回たたく

は な ちゃん りん ご を た べ た い ね で こ ちゃん

